

洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所

2022年度 活動報告書

1 現代邦楽研究所の概要

■ 沿革

新しい邦楽専門の教育研究機関として 1995年東京目白に開設し“現代邦楽研究所”第1期が始まる。三味線演奏家 西潟昭子を代表として運営を開始。演奏、創作、教育、研究、プロデュースなど、様々な分野において日本の伝統音楽文化に貢献できる人材を育成輩出すべく、様々な講座を設定し、広く教育活動を行う。また、演奏会やワークショップ活動、コンクール事業、新作委嘱、CDや書籍出版など音楽文化への貢献活動も行う。2005年(第11期)4月より洗足学園音楽大学内に組織に移管し、大学附属研究所として“洗足学園音楽大学現代邦楽研究所”となる。2015年度より、森重行敏が所長に就任。

2 研究体制

■ 2022年度 組織図

所長: 森重行敏(客員教授)/顧問: 松尾祐孝(教授)/主任: 山口賢治(講師)

招聘員: マーティンリーガン(招聘研究員)

研究員: 市川香里(講師)/富田慎平(講師)/野澤佐保子(講師)/野澤徹也(講師)

山中信人(講師)/吉原佐知子(講師)

研究助手: 産形典子(卒業生)/稲垣美沙(修了生)/大友美由奈(修了生)/谷富愛美(修了生)

染谷美里(卒業生)/平原愛香(卒業生)/馮蕊(修了生)

■ 活動年表

1995年5月～2020年3月は現代邦楽研究所 2021年度活動報告書にて報告

2022年

6月 京橋エドグラン 和楽器展示会 演奏ステージ出演

6月 現代邦楽研究所第 28期ワンテーマ講座開講

(コロナの状況を考慮し例年より遅れて開始)

7月 現代邦楽コース「和のいろは」制作協力(以下、演奏会詳細は後述)

11月 洗足学園音楽大学 邦楽ミュージカル 制作協力

11月 洗足学園音楽大学 邦楽冬の演奏会 制作協力

2023年

3月 箏曲組歌演奏会(紀尾井小ホール)の後援

3月 洗足学園音楽大学 邦楽 第13回定期演奏会 制作協力

■ 第28期（2022年度）講師 ※【専門分野】 五十音順

芦垣美穂【三味線組歌】

1980年東京藝術大学音楽学部講師拝命。2015年第20回芦垣美穂箏三絃リサイタル 2017年開軒50周年記念一穂会地唄箏曲演奏会を国立劇場(小劇場)に於いて開催。現在京都にて中澤真佐師に師事、柳川流三絃を習得中。NHK邦楽百番、邦楽のひとつとき等放送レコード録音多数。「古典教材ライブラリー」を人間国宝 山本邦山氏、吉崎克彦氏と共に収録発売中。ソロアルバム「今に生きる古典の世界」I-VIII 発売中。「芦垣美穂演奏集-宮城道雄を謳う-」全6集発売中(芸術祭参加作品)。宮城社大師範、森の会会員、日本三曲協会会員、生田流協会会員、初心の会同人、一穂会主宰、名古屋音楽大学客員教授。

石垣清美【箏】

5歳より生田流箏曲を学び、後に沢井忠夫に師事。'77年初代石垣征山と第1回箏・尺八ジョイント・リサイタルを開催以来、国内外各地で回を重ねる。'85年から熊谷守一美術館にて年4回9年間ジョイント・コンサートを開催。平成元年度「石垣清美 箏独奏会」の成果により、平成3年度「石垣征山・石垣清美 ジョイント・リサイタル vol.5」の成果により、文化庁芸術祭賞を受賞。コロムビアよりCD「石垣清美 箏・十七絃の世界」「沢井忠夫デュオ作品集」「石垣清美・沢井忠夫をうたう」他発売。国際交流基金の派遣などによりアメリカ、東南アジア、アルゼンチン、スペイン、中東、他を訪問。沢井箏曲院教授。邦楽音心会主宰。NHK邦楽技能者育成会、京都女子大学卒業。洗足学園音楽大学名誉教授。

砂崎知子【箏】

東京藝術大学邦楽科を卒業、同大学院修了。宮城喜代子、小橋幹子、上木康江の各氏に師事。これまでに東京藝術大学非常勤講師、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学邦楽科客員教授を歴任する。リサイタルは、1974年の第1回よりこれまでにのべ40回以上を開催し、1987年の第17回リサイタルに対し文化庁芸術祭優秀賞を受賞、1999年には大阪ドーンセンターで開催したリサイタルに対し大阪文化祭賞を受賞、2006年開軒40周年記念リサイタルを国立小劇場にて開催、2011年のリサイタル「協奏曲の夕べ」に対し芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。1978年発表の「琴ヴィヴァルディ四季」(東芝EMI)を皮切りに、クラシックを箏で演奏した画期的なレコードは異例の40万枚を売り上げ、その後CD化に至る。1989年にソロアルバム「ベストテイク」(ビクター)を発売。2007年より宮城道雄作品集シリーズ「春の海」「水の変態」「越天楽変奏曲」(日本コロムビア)を順次発売し、純邦楽CDランキングにて「春の海」は第1位、その他も上位を獲得した。2016年5月にはこれまでの自作の新録音となる「砂崎知子作品集 1-3」CDを発売した。2007年から2011年にかけて「砂崎知子箏コンサート全国ツアー」を企画し、この間に砂崎知子と琴ニューアンサンブルメンバーと共に国内の29カ所を巡り、各地で公演を開催した。これまでの様々な活動に対し、2016年には伝統文化ポークラ賞優秀賞を受賞した。現在、全国小中学生箏曲コンクール、全国高校生邦楽コンクール審査員。NHK TV「にっぽんの芸能」、FM「邦楽百番」等に多数出演。東京・大阪・岡山に教室を持ち、多くの門人の為に日々指導にあたっている。

富田慎平【邦楽打楽器】

洗足学園音楽大学音楽学部音楽科打楽器コース卒業。在学中、洗足学園音楽大学主催第9回-11回「室内楽コンサートオーディション合格者による」披露演奏会成績優秀者による卒業演奏会、現代音楽協会主催「現代の音楽展」、ドイツ「オストフリーストランド音楽祭」サントリーホール主催「レインボー21 デビューコンサート」などに出演。NHK-FM「日本の民謡」「民謡を訪ねて」、NHK-Eテレ「民謡魂」、NHK-world「Blends」、テレビ東京「年忘れにつぼんの歌」「おはスタ 645」、フジテレビ「武器はテレビ SMAP×FNS27 時間テレビ」、読売テレビドラマ「猿ロック」、日本テレビ放送「Dr. 倫太郎」、日本フィルハーモニー交響楽団第642回定期演奏会などに出演。洗足学園音楽大学講師。

鳥居名美野【箏曲組歌】

東京藝術大学邦楽科卒業、同大学大学院修士課程修了、芸術修士号取得。市村綾能(実母)、五代・鳥居登名美(養母)、中能島欣一、初代・越野栄松、二代・高橋栄清に師事。昭和30年五代・名美野を襲名。昭和57年家元継承。昭和29年安宅賞。昭和55年・57年文化庁芸術祭優秀賞。平成14年文化庁長官賞。平成17年松尾芸能賞。米国ワシントン大学にて講師として1年、ウェスリアン大学にて客員芸術家として10年山田流箏曲を教授。アメリカ各地、多数の大学、カナダ、イギリス、中国にて演奏。現在、山田流古典曲保持者として箏曲組歌の研究、古典曲の研鑽と伝承に努めるとともに、演奏で活躍。山田流に伝わる組歌全30曲の楽譜を出版。CD 鳥居名美野箏曲組歌第1集-第4集(日本伝統文化振興財団)。河東節・山彦登和子、一中節・宇治紫蝶の芸名を持つ。箏曲組歌会代表、山田流箏曲協会副会長、(社)日本三曲協会監事、「耀名会」主宰。

西川啓光【邦楽打楽器】

所属団体「オーケストラアジア」、日本音楽著作権協会。西川啓光和太鼓フループ「鼓友会」主宰。パール楽器製造株式会社「パール和太鼓」アドバイザー。著作「和太鼓をはじめよう!」(汐文社)。日本音楽集団の一員として「音楽之友社賞」「レミーマタン音楽賞」受賞。市川猿之助演出主演スーパー歌舞伎、シドニー市と東京都姉妹都市提携の友好使節団、大相撲アメリカ公演及びパリ公演等の音楽監督やプロデュースを行う。各地方の太鼓グループ等の演奏指導も行う。

野澤佐保子【箏】

幼少より母に生田流箏曲の手ほどきを受ける。現代奏法を福永千恵子師に、古典地歌箏曲を芦垣美穂師に師事。NHK 邦楽技能者育成会第41期卒業。現代邦楽研究所第4期修了。一般社団法人京都當道会師匠資格取得。名古屋大学文学部卒業。賢順記念全国箏曲コンクール第一位賢順賞受賞。東京邦楽コンクール奨励賞受賞。ビクター邦楽技能者育英賞受賞。蒲都市文化協会奨励賞受賞。NHK 邦楽オーディション合格(箏、十七絃箏)。2000年、2006年、2014年にリサイタルを行うほか、各種演奏会、演奏会企画公演など各地で行う。学校へのアウトリーチも積極的に取り組んでいる。CD 録音参加、NHKFM ラジオ出演多数。「やさしい箏入門」(ドレミ楽譜出版社刊)

執筆。洗足学園音楽大学講師、桐生大学附属中学校講師、NHK 邦楽技能者育成会同窓会合奏団現代邦楽“考”団員、東久留米市邦楽連盟、蒲郡市文化協会所属。

野澤徹也【三味線】

受賞歴は東京邦楽コンクール第1位、全国邦楽コンクール優秀賞他多数。CDは『三味線独奏曲集』(TYサポート受賞作品)の他、計18枚リリース。2019年『杵屋正邦作品集』を(公財)日本伝統文化振興財団よりリリースし、令和元年度(第74回)文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。2013年より放送の『にっぽんの芸能』テーマ曲・挿入曲の演奏を担当。2020年6月には演歌歌手・五木ひろしコンサート「和楽器と奏でる日本のこころ」に出演。8月にはNHK第一ラジオドラマ「料理人季蔵捕物控(西田敏行、竹下景子主演)」シリーズの三味線演奏を担当。洗足学園音楽大学講師。

松尾祐孝【作曲】

1959年東京生まれ。1984年東京芸術大学大学院修士課程修了。85年日仏現代音楽作曲コンクール特別賞、88年ACL青年作曲賞第1位、92年ISCM世界音楽の日々ワルシャワ大会入選、その他、村松賞、別宮賞等、受賞多数。94年には、代表作〈PHONOAPHEREI-尺八と管弦楽の為に〉が東京フィル欧州楽旅で絶賛を博す。以後、邦楽器の分野にも積極的に関わっており、2014年に開催した《松尾祐孝邦楽器作品個展》は大きな反響を巻き起こした。国際交流活動にも積極的で、98年ブザンソン国際作曲コンクール審査員、《ISCM世界音楽の日々2001横浜大会》等の実行委員長、メキシコ《セルバンティノ芸術祭2005》招待作曲家、エクアドル《日本=エクアドル交流演奏会2006》招待指揮者、NY《Music From Japan 2007》委嘱作曲家、ポルトガル《Musica Viva 2010》委嘱作曲家、ウクライナ《Donbas Modern Music Art 2013》招聘指揮者、等を歴任している。現在、(N法)日本現代音楽協会理事、(公財)日本音楽教育文化振興会理事、(一社)日本木文化学会代表理事。

森重行敏【音楽学】

1979年東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。大学在学中、故小泉文夫教授の薫陶により日本とアジアの音楽に関心を持ち、ガムラン音楽グループの創設に加わる。1979年武蔵野音楽学院(調布市、廃校)にて楽典授業、学務副主任。1984年(財)日本児童手当協会音楽事業部コーディネータとして青山・こどもの城(国立総合児童センター)における邦楽、ガムラン、合唱などの音楽講座の企画、運営にあたる。1990年PAN School of Music(渋谷区、廃校)にてイヤートレーニング担当、テキスト作成に携わる。1995年現代邦楽研究所(目白)の開校時より、授業系主任としてカリキュラム作成、授業実施に携わる。2002年桐朋学園大学短期大学部(現、桐朋学園芸術短大)にて日本音楽理論講義。2003年東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科にて日本音楽概論講義。2005年洗足学園音楽大学現代邦楽研究所および現代邦楽コースにて各種授業。2013年尚美学園大学にて『諸民族の音楽』授業。洋楽、邦楽、ガムラン音楽分野の編曲作品、解説、著述多数。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、東京芸術大学、尚美学園大学にて授業担当。他にNPO法人日本ガムラン音楽振興会理事。一般財団法人杉並児童合唱団代表理事。近

年のおもな業績 2012 年「ビジュアル版・和楽器事典」(単著) 汐文社刊。2013-2015 国立劇場邦楽公演専門委員。2015 年度より洗足学園音楽大学客員教授および現代邦楽研究所所長。

山口賢治【尺八】

尺八を二代青木鈴慕(人間国宝)、佐々木晴風、演奏法を石川憲弘に師事。NHK 邦楽技能者育成会卒、現代 邦楽研究所研究科卒。NHK 邦楽オーディション合格。書籍「和楽器にチャレンジ尺八を吹いてみよう(汐文社)、CD「尺八の現在革新から新たなる伝統へ」(YSEK001)。リサイタルシリーズ「尺八の現在」に現代音楽作曲家の作品や委嘱活動を行う。また音楽づくりの手法を取り入れた教育活動にも力を入れる。現在、山口尺八演奏研究室主宰。邦楽創造集団オーラ J 団員。洗足学園音楽大学講師。

山下名緒野【箏曲組歌】

幼少より母に手ほどきを受ける。昭和 47 年鳥居名美野師に師事。現在に至る。昭和 47-53 年市村綾能師に師事。昭和 53 年東京藝術大学卒業。昭和 55 年 NHK 邦楽技能者育成会修了。昭和 60 年文化庁国内研修員に任命される。平成 19 年-21 年東京芸術大学非常勤講師。平成 22 年より洗足学園音楽大学現代邦楽研究所箏曲組歌講師。河東節を山彦さわ子師に師事し山彦みや子に、荻江節を荻江さわ師に師事し荻江りおを、一中節を十二世 都一中師に師事し都一恵の名前を許される。「邦楽百番」「芸能花舞台」等出演。日本三曲協会、山田流箏曲協会。

山中信人【津軽三味線】

中学校卒業後 15 歳で単身青森県弘前市に渡り、津軽三味線奏者山田千里(やまだちさと)の内弟子として 4 年間修業。津軽三味線山田千里流師範となる。毎年青森県弘前市でおこなわれる津軽三味線世界大会では最上級 A 級 3 連覇を達成し殿堂入り。また津軽民謡の伝統的な唄付けの技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で 3 回の優勝を獲得。海外計 38 の国と地域で演奏。約 16 年にわたり「南中ソーラン」など現代風アレンジした民謡を演奏する伊藤多喜雄&タキオバンドのメンバーとして活動。世界を意識した活動を行う埼玉県にゆかりのある個人や団体に贈られる「平成 29 年度埼玉グローバル賞」を受賞。「平成 30 年度北本市文化奨励賞」を受賞。現在はソロ奏者として演奏会、学校公演、講演会などで活動中。洗足学園音楽大学講師。加須市観光大使。北本市観光大使。埼玉親善大使。

吉原佐知子【箏】

東京藝術大学邦楽科生田流箏曲専攻卒業。NHK 邦楽技能者育成会卒業。現代邦楽研究所第 1 期卒業。同所にてビクター邦楽技能者育英賞受賞。全国高校生邦楽コンクール準優賞。賢順記念全国箏曲コンクール銅賞、奨励賞受賞。NHK オーディション合格。「和楽器にチャレンジ箏」(汐文社)執筆担当。日本三曲協会、生田流協会、森の会、あいおいの会会員。洗足学園音楽大学、熊本大学、東京都市大学等々力中高箏曲部講師。

特別招聘研究員・講師

Dr.Marty Regan (マーティン リーガン)【作曲】テキサス A&M 大学教授

日米教育委員会フルブライト講師研究員として 2022 年夏より 1 年間来日。

「西洋音楽」はもとより、今までに、70 曲を超える邦楽作品を作曲。2002 年以降、現代邦楽演奏の主要グループの一つであるオーラJに所属。95 年オハイオ州オーバーリン大学作曲科及び東アジア研究科卒。国費研究留学生として、東京音楽大学院作曲専攻に在籍していた。02 年文化庁舞台芸術創作奨励国立劇場作曲コンクールに尺八と二十絃箏のための「東雲の詩」(2001)で入賞。邦楽器のための作曲法について書かれた唯一の研究書である、三木稔著「日本楽器法」(音楽之友社)の英語版翻訳を 2008 年に出版。2006 年ハワイ大学作曲科博士課程修了。ヒューストン・グランドオペラによる委嘱作品、室内オペラ「メモリー・ストーン」が、テキサスセンター・アジアソサエティにて、2013 年初演。10 年ナボーナレコードによって、自作品 CD「マーティン・リーガンの和楽器による作品集第一番: 森が囁いて...」がリリースされた。邦楽器の為の第二作品集「魔鏡」(2012)及び第三作品集「光を花と散らす」(2014)は同レーベルよりリリースされた。11 年研究員として上海音楽院作曲専攻に在籍し、中国伝統的楽器の個人レッスンを受けた。2015 年ヘレン・ウーリツァー財団アーティスト・レジデンス助成を得る。イギリス・ケンブリッジ大学のクレア・ホール客員研究員の奨学金を得る。現在、アメリカ・テキサス A&M 大学の教授として後進の指導にあたる。

3 研究活動

■ 研究の概要

現代邦楽研究所における研究活動の大きな柱は、演奏活動と教育活動の2本柱にある。演奏会活動については、作曲家への邦楽器による新たな作品の委嘱や初演を手がけ、優れた現代邦楽作品の演奏紹介を行う他、古典についても現代に生きる音楽としての視点から、演奏や研究活動を行っている。教育活動については専門性を高める教育と同時に、幅広く日本の伝統音楽を体験してもらう方法論として、音楽づくりの手法を取り入れた教育法の研究と実践を進めている。

4 現代邦楽研究所協力

■ 演奏会

例年、1月に現代邦楽研究所の各公開講座の研究生による成果発表の場となる修了コンサートが開かれていたが、新型コロナ流行が終息しないためコンサートは実施されなかった。今年度の現代邦楽研究所主催演奏会は無かったが、開催に協力した演奏会について下記に示す。

◎洗足学園音楽大学「和のいろは」

日時:2022年7月23日(土) 14:00開演(13:30開場)

会場:洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン1F

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料(事前予約制 定員50名)

曲目:「糸四題」佐藤敏直作曲

「津軽じょんから節」津軽三味線

「碧潭一番」浦田健次郎作曲

「さらし幻想曲」中能島欣一作曲

「弥栄」杵屋正邦作曲

出演:馬新凱(院2:笛)/陳卓(院2:箏)/郝翼田(院1:津軽三味線)

中村美優(学4:箏/川田健太(学3:箏)(休演)

村松紀親(院2:フルート)(休演)/産形典子(卒業生:箏)

稲垣美沙(修了生:箏)/染谷美里(卒業生:津軽三味線)

馮蕊(修了生:笛)/碓井由希子(現邦:箏)/磯部桐笛(現邦:箏)

倭文美智子(現邦:箏)/山本一心(現邦:笛)

助演:吉原佐知子(箏講師)

司会:松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

洗足学園音楽大学 邦楽演奏会「和のいろは」

■日時:2022年7月23日(土)
14:00開演(13:30開場)

■会場:洗足学園音楽大学
シルバーマウンテン1F

■主催:洗足学園音楽大学・大学院

■協力:現代邦楽研究所

■入場料:無料(事前予約制 定員50名)

■曲目
「糸四題」佐藤敏直 作曲
「津軽じょんから節」津軽三味線
「碧潭一番」浦田健次郎 作曲
「さらし幻想曲」中能島欣一 作曲
「弥栄」杵屋正邦 作曲

■出演者
馬新凱(院2:笛) 陳卓(院2:箏) 郝翼田(院1:津軽三味線)
中村美優(学4:箏) 川田健太(学3:箏) 村松紀親(院2:フルート)
産形典子(卒業生:箏) 稲垣美沙(修了生:箏)
染谷美里(卒業生:津軽三味線) 馮蕊(修了生:笛)
碓井由希子(現邦研:箏) 磯部桐笛(現邦研:箏)
倭文美智子(現邦研:箏) 山本一心(現邦研:笛)

■司会
松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

■入場予約申込・問合せ
現代邦楽研究所 電話&FAX 044-856-2932
genhouken01@senzoku.ac.jp

※1 入場予約受付は洗足学園関係者、出演関係者、現代邦楽研究所関係者に限定させていただきます。

※2 本コンサートについてSNSやブログ等のネット上への事前情報公開はお控えください。

※3 万一、緊急事態の発生が明らかになった際は、保護者に入場者の情報を提供する場合がございます。

◎洗足学園音楽大学「邦楽ミュージカル公演」

日時:2022年11月26日(土) 18:00開演(17:30開場)

11月27日(日) 14:00開演(13:30開場)

会場:洗足学園音楽大学キッズスクエア1階 MUSIC POOL CINO

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

曲目:「夏花火♡恋名残」篠原誠作曲

出演:野澤佐保子(箏講師)/馬新凱(院2:笛)/中村美優(学4:箏)

稲垣美沙(修了生:箏)/染谷美里(卒業生:津軽三味線)

阿部大輔(尺八)/冨田慎平(打楽器講師)

ミュージカルアンサンブル



◎洗足学園音楽大学「冬の邦楽演奏会」

日時:2022年12月10日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場:洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1F

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

曲目:「アルマの雲」吉村弘作曲

「明鏡」杵屋正邦作曲

「銀河」沢井忠夫作曲

「さらし幻想曲」中能島欣一作曲

「山々の精霊」Marty Regan 作曲

「みえ幻想」杵屋正邦作曲

出演:馬新凱(院 2:笛)/陳卓(院 2:箏)/郝翼田(院 1:津軽三味線)

中村美優(学 4:箏)/川田健太(学 3:箏)/村松紀親(院 2:フルート)

佐々木和奏(学 1:打楽器)/産形典子(卒業生:箏)染谷美里(卒業生:津軽三味線)

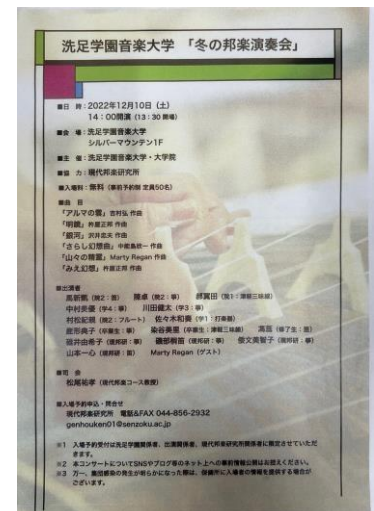
馮蕊(修了生:笛)/碓井由希子(現邦:箏)/磯部桐笛(現邦:箏)/倭文美智子(現邦:箏)

山本一心(現邦:笛)

助演:吉原佐知子(箏講師)

ゲスト:マーティン リーガン(講師)

司会:松尾祐孝(現代邦楽コース教授)



◎洗足学園音楽大学「第13回邦楽定期演奏会」

日時:2023年3月19日(土) 14:30開演 (14:00開場)

会場:洗足学園音楽大学 前田ホール

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

曲目:「五段砧」光崎検校作曲

「箏・三絃二重奏曲」杵屋正邦作曲

「天空幻想Ⅲ」松尾祐孝作曲

「春のひとつ時」Marty Regan作曲

「編曲八千代獅子」宮城道雄作曲

出演:馬新凱(院2:笛)/郝翼田(院1:津軽三味線)/中村美優(学4:箏)

川田健太(学3:箏)/産形典子(卒業生:箏)/平原愛香(卒業生:箏)

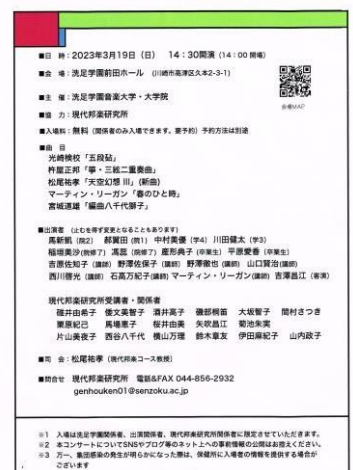
稲垣美沙(修了生:箏)/馮蕊(修了生:笛)

助演:吉原佐知子(箏講師)/野澤佐保子(箏講師)/野澤徹也(三味線講師)

山口賢治(尺八講師)(休演)/西川啓光(打楽器講師)/石高万紀子(笛講師)

マーティンリーガン(講師)/吉澤昌江(客演)

洗足学園音楽大学邦楽第13回定期演奏会



現代邦楽研究所受講者・関係者：碓井由希子/倭文美智子/酒井高子/磯部桐笛/大坂智子
 間村さつき/栗原紀子/馬場恵子/桜井由美/矢吹昌江
 菊池朱実/片山美夜子/西谷八千代 横山万理/鈴木章友
 伊田麻紀子/山内政子/森博明(佳久山)/鈴木裕子
 司会：松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

■ 作品初演

2023年3月19日(土)「第13回邦楽定期演奏会」

《天空幻想 III ～篠笛、三味線、箏の為に》 松尾祐孝作曲

篠笛：馬新凱(院2)

三味線：郝翼田(院1)

箏：吉原佐知子(講師)



近年、大学院和楽器専攻では、邦楽定期演奏会と大学院スペシャルコンサートを連携させて、作曲家書き下ろし作品の新作初演プロジェクトを展開している。今年度は、篠笛専攻学生1名と三味線専攻学生1名と箏教員1名が協演して初演できる三重奏作品を用意した。二年前の同プロジェクト作品《天空幻想Ⅱ》～篠笛と箏の為に～に三味線を加えた新ヴァージョンと言うべき作品が誕生した。日本の伝統音楽のルーツが中国の西域やモンゴルを経て伝来したことに想いを馳せつつ、青空を見上げるようなイメージを脳裏に描きながら、筆を進めた。教員の助演を得た若い二人の留学生(両名とも中国出身)のフレッシュな演奏と邦楽器のサウンドの魅力を、存分にお楽しみください。

(記:作曲者) 曲目解説より

●第 28 期現代邦楽研究所総合コース実施概要

日程	講義 13:00~14:30 C409 教室	担当講師	アンサンブル実習 15:00~17:00 C501 教室	担当講師
4月9日	現代邦楽概説	森重行敏	合奏実習のための準備講義①	森重行敏
4月16日	近世邦楽から新日本音楽運動	森重行敏	合奏実習のための準備講義②	森重行敏
4月23日	久本玄智、山川園松、宮下秀冽の音楽	森重行敏	合奏曲 A	野澤徹也
4月30日	宮城道雄の音楽	吉原佐知子	合奏曲 A	吉原佐知子
5月7日	中能島欣一の音楽	田中奈央一	合奏曲 A	山口賢治
5月14日	都山流尺八と中尾都山	田辺頌山	(鑑賞 石垣清美リサイタル 紀尾井ホール)	
5月21日	唯是震一と正派の音楽	奥田雅楽之一	合奏曲 A	山中信人
5月28日	藤井凡大の音楽	吉原佐知子	合奏曲 B	吉原佐知子
6月4日	杵屋正邦の音楽	野澤徹也	合奏曲 B	野澤徹也
6月11日	黛敏郎と間宮芳生の音楽	松尾祐孝	合奏曲 B	市川香里
6月18日	諸井誠と廣瀬量平の音楽	山口賢治	「和のいろは」合奏曲	市川香里
6月25日	武満徹の音楽	山口賢治	「和のいろは」合奏曲	松尾祐孝
7月2日	雅楽の現代作品	中村華子	「和のいろは」合奏曲	松尾祐孝
7月9日	尺八三本会	青木鈴慕	「和のいろは」合奏曲	松尾祐孝
7月16日	邦楽の現状と未来	田中隆文	「和のいろは」合奏曲&通しリハ	松尾祐孝
7月23日	邦楽演奏会「和のいろは」シルバーマウンテン 14:00 開演			
9月3日	沢井忠夫の音楽	石垣清美	邦楽ソルフェージュ 1	森重行敏
9月10日	三木稔の音楽	野澤徹也	邦楽ソルフェージュ 2	森重行敏
9月17日	山本邦山の音楽(C404)	田辺洌山	合奏曲 C	石高万紀子
9月24日	長澤勝俊の音楽	野澤佐保子	合奏曲 C	野澤佐保子
10月1日	牧野由多可の音楽	石川憲弘	合奏曲 C	野澤佐保子
10月8日	一柳慧と湯浅譲二の音楽	福永千恵子	合奏曲 D	山中信人
10月15日	「マーティンリーガン自作品を語る」	マーティンリーガン	合奏曲 D	富田慎平
10月22日	二十絃箏、二十五絃箏の音楽	花岡操聖	合奏曲 D	富田慎平
10月29日	作曲家から見た邦楽① 山本和智	山本和智	「冬の邦楽演奏会」合奏曲	松尾祐孝
11月5日	作曲家団体と邦楽器	松尾祐孝	「冬の邦楽演奏会」合奏曲	松尾祐孝
11月12日	学園祭 現代邦楽研究所公開授業		「冬の邦楽演奏会」合奏曲	松尾祐孝
11月26.27日	邦楽ミュージカル公演			
12月3日	作曲家から見た邦楽② 川崎絵都夫	川崎絵都夫	「冬の邦楽演奏会」合奏曲&リハ	松尾祐孝
12月10日	邦楽演奏会「冬の邦楽演奏会」シルバーマウンテン 14:00 開演			
12月17日	海外作曲家による邦楽作品	マーティン	合奏曲 E(箏道会演奏曲)	マーティン
1月7日	現代邦楽研究所の委嘱作品	森重行敏	合奏曲 E(箏道会演奏曲)	マーティン
1月14日	作曲家から見た邦楽③ 高橋久美子	高橋久美子	合奏曲 E(箏道会演奏曲)	マーティン

このほか、1月29日箏道音楽院「邦楽の祭典」(国立劇場)への賛助出演も実施。

●第 28 期ワンテーマ講座

A.箏合奏研究講座 12:30～14:30	8月6日 (C501)	8月27日 (C501)	9月24日 (C501)	10月22日 (C501)	11月5日 (C501)	1月21日 (C501)
担当	砂崎知子		江戸信吾		川崎絵都夫	
曲目	編曲さらし風手事 /牧野由多可		風の舞/江戸信吾		5つの組曲-箏・尺八・十七絃 箏のための- 川崎絵都夫	
楽譜	大日本家庭音楽出版		大日本家庭音楽出版		後日配布	
B.箏曲組歌研究講座 12:30～14:30 担当:鳥居名美野先生/ 山下名緒野先生	9月10日 (C501)	10月1日 (C501)	10月29日 (C501)	11月26日 (C501)	12月17日 (C501)	1月14日 (C501)
C.十七絃奏法研究講座 10:00～12:00 担当:石垣清美先生	7月30日 (C501)	9月3日 (C501)	10月22日 (C516)	11月5日 (C516)	12月3日 (C501)	1月7日 (C501)
D.三味線組歌研究講座 15:00～17:00 担当:芦垣美穂先生	9月3日 (C409)	10月1日 (C409)	10月29日 (C409)	12月24日 (C501)	1月14日 (C409)	3月12日 (C501)
E.尺八本曲「鶴の巢籠」研究講座 15:00～17:00(開講休止)	8月6日 (C501)	8月27日 (C501)	11月5日 (C409)	12月3日 (C404)	12月24日 (C516)	1月21日 (C501)
担当	神令		青木鈴慕		本間豊堂	
曲目(予定)	鶴の巢籠/所伝不明		呼び返し 巢鶴鈴慕抄		鶴の巢籠/奥州系	
F.楽しい箏合奏講座 12:30～14:30 担当:野澤佐保子先生	8月27日 (C516)	9月10日 (C516)	10月1日 (C516)	11月12日 (C501)	12月17日 (C301)	1月14日 (C516)
G.楽しい鼓講座 15:00～17:00 担当:西川啓光先生	9月17日 (C409)	10月15日 (C501)	10月29日 (C501)	12月17日 (C501)	12月24日 (C501)	1月14日 (C501)
H.中国笛子講座 10:00～12:00 担当:孫 瀟夢先生(開講休止)						

上記EとHは希望者が定員に満たなかったため休止。

5 所蔵物

・楽器

大学授業および現代邦楽研究所講習などで活用するための楽器として箏(十三絃/十七絃)、三味線、尺八、笛、邦楽打楽器などを備品として保管管理。

・楽譜

主に現代邦楽作品の五線譜楽譜を中心に約300曲を保有。

・CD・DVD

研究用に購入もしくは寄贈されたCD、DVDなど約200点を保有。

その他、過去の演奏会、講習の記録ビデオ、録音音源を保有。

6 現代邦楽研究所事務局

〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本 2-3-1

洗足学園音楽大学内アンサンブルシティ 5階 C503

電話&FAX: 044-856-2932

メール: genhouken01@senzoku.ac.jp HP:

<https://www.senzoku.ac.jp/music/laboratory/traditional>

